

編集後記

本特集は出口正之教授の共同研究「会計学と人類学の融合」と連動して「お金を数える」をテーマにしてみた。小生の調査地の人たちが好む小話には、借金をテーマにしたものがある。村の小型店舗の扉に長大な人名リストが掲げられている。客がこれはなんだと主人に質すと、黒字で名前の上に線が引かれているのは返済済み、線が引かれていないのは未返済という。それ以外に赤字で斜線が引かれた債務者のリストが一番長く続いている。客の一人が再度これはなんだと訊くと、「この〇〇は、返さないであの世にいった奴だ！」と悪態をつくというのが落ちである。

この小話のように、村のなかのゆっくりした生活のなかでは借金はお互い様、完済しないこともありふれているといえる。一方で、現行の金融制度では救いきれない需要があるであろう、都市部での金貸し業は非常に繁盛しているという。つまりそうした商売が成り立つ程度には返済の義務を感じているのだ。小生にも調査地で会うたびに「あのお金のことは覚えているから（大丈夫）」と口にする知己が何人もいるが、これは返済を期待していいのだろうか。迷うところである。（丹羽典生）

●表紙：右上から時計回りに
石貨 (H0098796)、貝貨 (H0279249)、巫俗儀礼用貨幣 (H0214732)、
貨幣 (H0030930)、祖先祭祀用紙銭 (H0215420)、
儀礼用貨幣 (H0190041)、紙幣 (H0279615)、儀礼用貨幣 (H0189976)

次号の予告

特集

「アーミッシュの生活と文化」(仮)

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

月刊みんぱく 2018年5月号

第42巻第5号通巻第488号 2018年5月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 丹羽典生(編集長) 寺村裕史 三島禎子
南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一孝 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 毎日新聞社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に
お願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅(エキスポシティ前)」 「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology